

本日の予定

化学・生命系学科説明会 (理工学部講義棟A107)

1. 化学・生命系学科説明会

小林学科長が、化学・生命系学科の全体概要について紹介いたします。

説明会1回目 10:00~10:30

説明会2回目 12:00~12:30

説明会3回目 14:00~14:30

3回とも同じ内容になります。

2. 模擬講義 10:40~11:40

化学EPの児島教授が『花咲か爺さんの灰を化学する』の題目で講義を行います。

3. 学生による大学生活及び研究紹介 12:40~13:40

各EPの学生代表者が、研究や大学生活について紹介します。

研究室選び、研究、教職、サークル、大学院進学、バイト・・・など

4. 個別相談会 14:30~15:30 (理工学部講義棟A107)

各EPの入試委員、在学生が個別に質問にお答えします。

入試、キャンパスライフ、進学、就職・・・など

第2食堂



緊急時の避難場所について



緊急時は、教員の指示に従って下さい

化学・生命系学科の詳細は、ホームページにアクセス

<http://www.chem-bio.ynu.ac.jp/>

# 模 擬 講 義

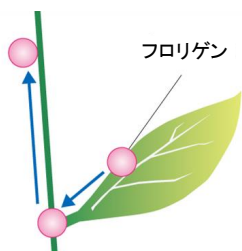
## 『花咲か爺さんの灰を化学する』

児嶋 長次郎 教授



「枯れ木に花を咲かせましょう」で知られる民話「花咲か爺」。お爺さんは灰を撒いて枯れ木に花を咲かせます。化学を勉強している皆さんは、灰が強いアルカリ性になることを知っていることと思います。つまり、生きている草木を枯れ木にできても、枯れ木に花を咲かせることは難しそうです。

我々の研究グループは、10年前に花を咲かせる物質(植物ホルモン)を、6年前に花を咲かせるしくみを発見し、現在、花咲か爺さんの灰の働きを持つ夢の化学物質の創製に奮闘しています。本講義では、植物が花を咲かせるしくみや、薬を作り出す研究を紹介し、化学が切り拓く10-20年先の未来を予見します。



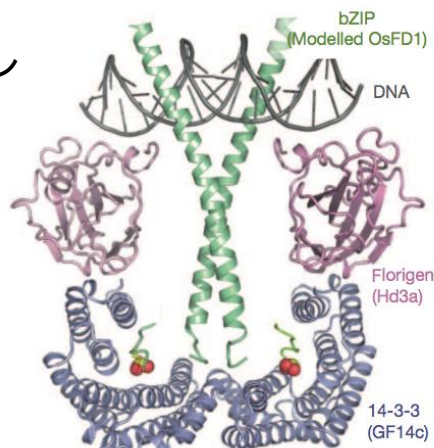
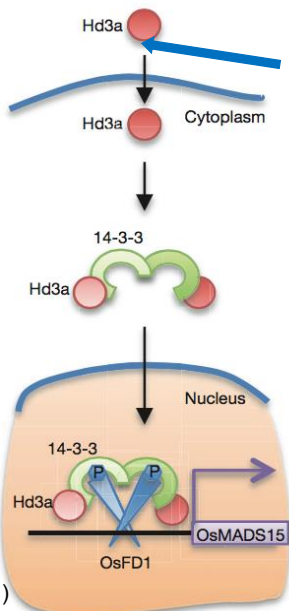
花を咲かせる植物ホルモン  
=フロリゲン

フロリゲンは葉でできて  
茎の先端まで移動し、  
花成を誘導する。

茎頂の細胞

細胞質

核



花成促進複合体の構造



C. Navarro et al.; Nature (2011)

イネのフロリゲンでジャガイモを産生